

* 研究授業からの学び *

2021.12.13
No.8
文責 新玉

令和3年 11月11日 (木)

西土佐中学校 第2学年 総合的な学習の時間

井上 忠和、下打 健生、兼松 成、和田 紗季 教諭

単元名 「仕事発見～地域貢献と私の未来～」(全70時間)

小単元3 「西土佐地域の産業に携わる人々への聞き取り学習を通して、西土佐の課題や人々の思いを知る。」(20時間)

<単元でつきたい力>

- 地域の産業における課題や取組を知り、それに関わる人々の思いや工夫が分かる。【知識及び技能】
- 自分を取り巻く社会の現状を踏まえ、地域や自分の課題を発見し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。【思考力、判断力、表現力等】
- 自分の生き方とよりよい社会の実現を関連付けて考えようとする。【学びに向かう力、人間性等】

本時の目標

聞き取り学習に向けて、その人の仕事や地域への思いや課題を引き出せる質問を考える。

本時の評価規準

西土佐地域の産業に携わる人々への聞き取り学習を通して、必要な情報を収集している。【思

西土佐で働く人に、どんなやりがいがあるか聞きたい。

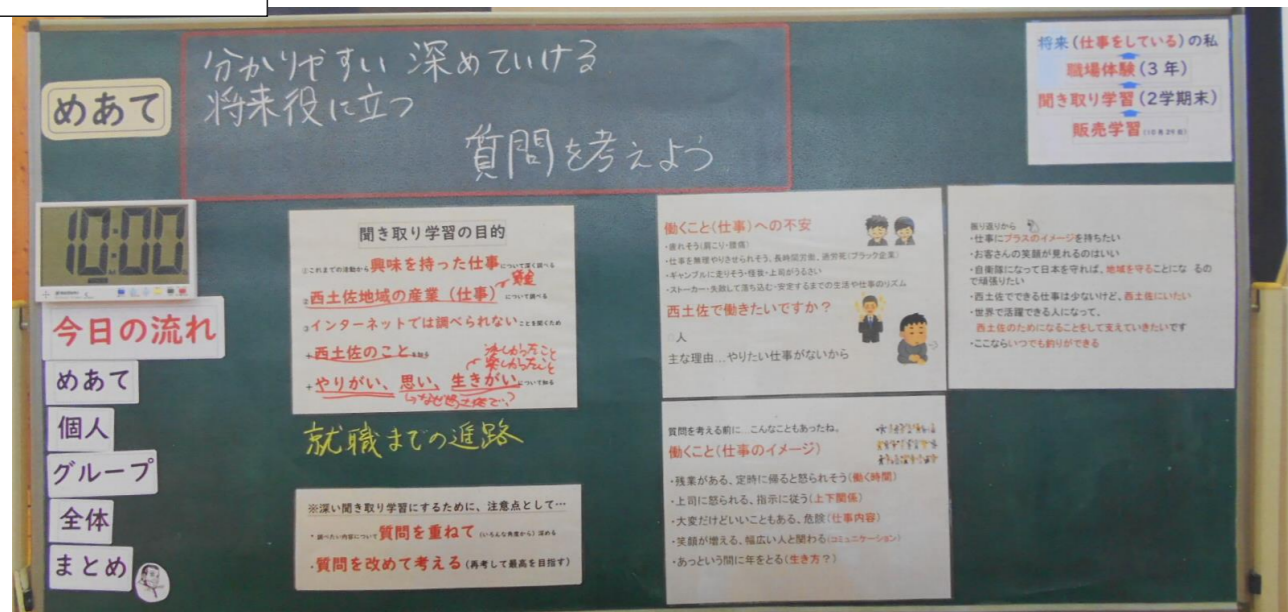


本時の授業風景



自分の将来のことも考えながら、質問を考えよう。

本時の板書 (11/11)



研究協議より (抜粋)

授業者より

- たくさんの参観者に見てもらおう中で、協力し合って精いっぱい活動できていた。
- 事前に聞き取り学習を行い、そこで学んだことを生かして、意欲的に質問を考えていた。
- 導入において、めあてに直結するもののみシンプルに扱うべきであった。欲張ったことで大事な部分が薄まってしまった。
- 質問内容を深める問い返しや生徒の意見のまとめ方の工夫が足りなかった。

参観者より

- 学級の雰囲気が良く、主体的に活動していた。
- 前時の振り返りのテンポがよく、めあてと活動の流れも子どもとともに考えていた。
- 課題設定が明確だった。
- 情報の整理については繰り返し取り組むことが大事。
- 自分事として取り組めるよう、何のために質問に行くかの目的意識をもっと明確にするとよい。
- 西土佐への思い、仕事への思いを引き出せるような深まる質問を考えさせる手立て。
- どのようなゴールを目指すのか、他者との出会いでどう価値観が変わるのかなど、具体的なイメージをもって取り組ませたい。

指導主事より

- ・これまでの学びの振り返りがよかった。
- ・どうして、何のために質問を考えるのかを目的を明確にさせ、質問を吟味させたい。
- ・探究課題に戻りながら活動し、子どもに探究課題を常に意識して取り組ませることが必要。
- ・主体性を重視し、何のための学習であるのかを子どもに自覚させることが大事。
- ・教員同士の役割分担を明確にし、生徒のささやきを拾えるようにしたい。

授業者のリフレクションより

目的意識、課題意識をいかに明確に生徒につかませるのか、その手立てをさらに工夫していきたい。

これまでの教員の役割分担の見直しを図り、授業内で生徒のつぶやきを効果的に活かせる工夫などについて学年部で検討していく。

“つながり”を意識した授業づくり、視覚教材の活用など今後も積極的に行っていく。

地域とのつながりを生徒だけでなく教員も、強く意識した取り組みを創造していきたい。

☆これから取り組んでいきたいこと

- * 教員の役割分担の明確化
- * 探究課題を生徒に意識させるための手立ての工夫
- * 生徒の思考が分かりやすい板書の工夫
- * 意見のまとめ方や考える際のシンキングツールの活用